

不登校経験者による多様な進路交流会 資料

”誰一人取り残さない” 世田谷泉2.0の取組

● ● ● ●
ホラ吹き校長の目に映る「不登校理解」と「支援」

令和6年11月4日
東京都立世田谷泉高等学校
統括校長 沖山 栄一

世田谷泉高校

- 平成13年開校の**チャレンジスクール**
- 生徒数634人（定員720人） 男子268人 女子366人
- 三部制・単位制・総合学科**
- 小・中での**不登校**や高校中退生徒の支援
- 個に応じた指導の徹底**
- 学力検査・調査書のない**特別な入学選抜**
- 他部履修により半数の生徒が**3年間で卒業**

チャレンジスクールのコンセプト
「生徒が学校に合わせるのではなく、
学校が生徒に合わせる」



世田谷泉過去20年間（1.0）の成果と課題

登校が安定
単位修得率
卒業率
進路決定率

60～70%

登校できる生徒は
ほぼ100%卒業

登校ありきの指導の限界

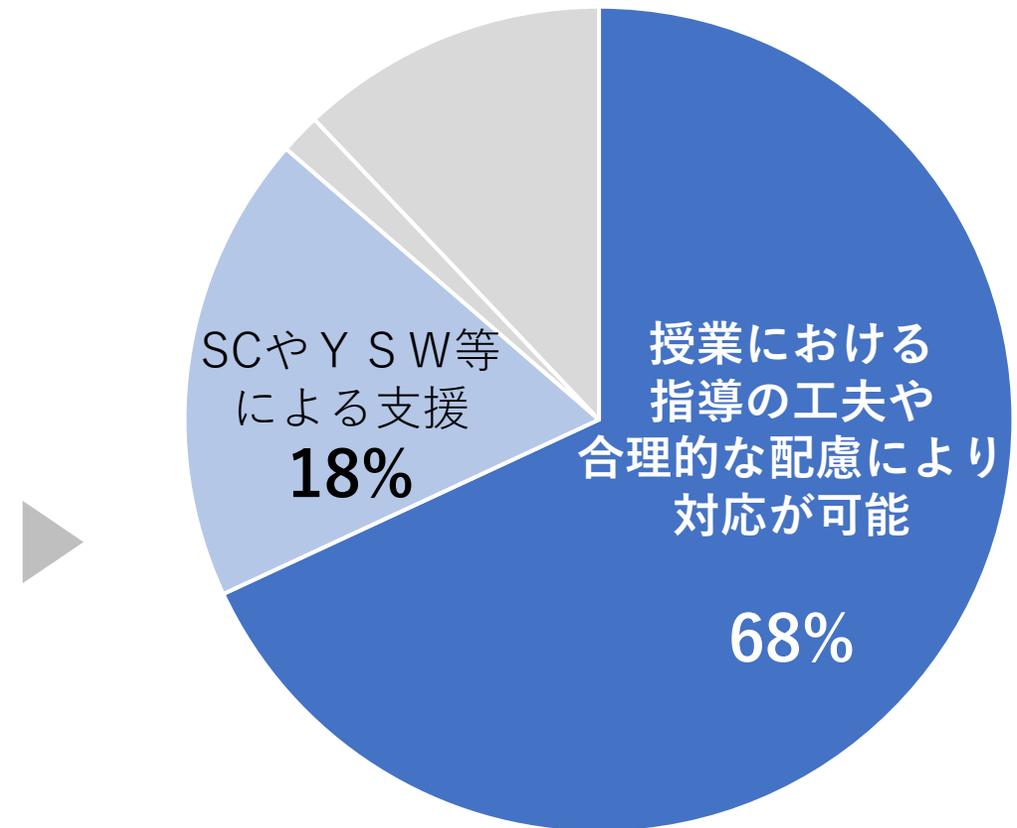
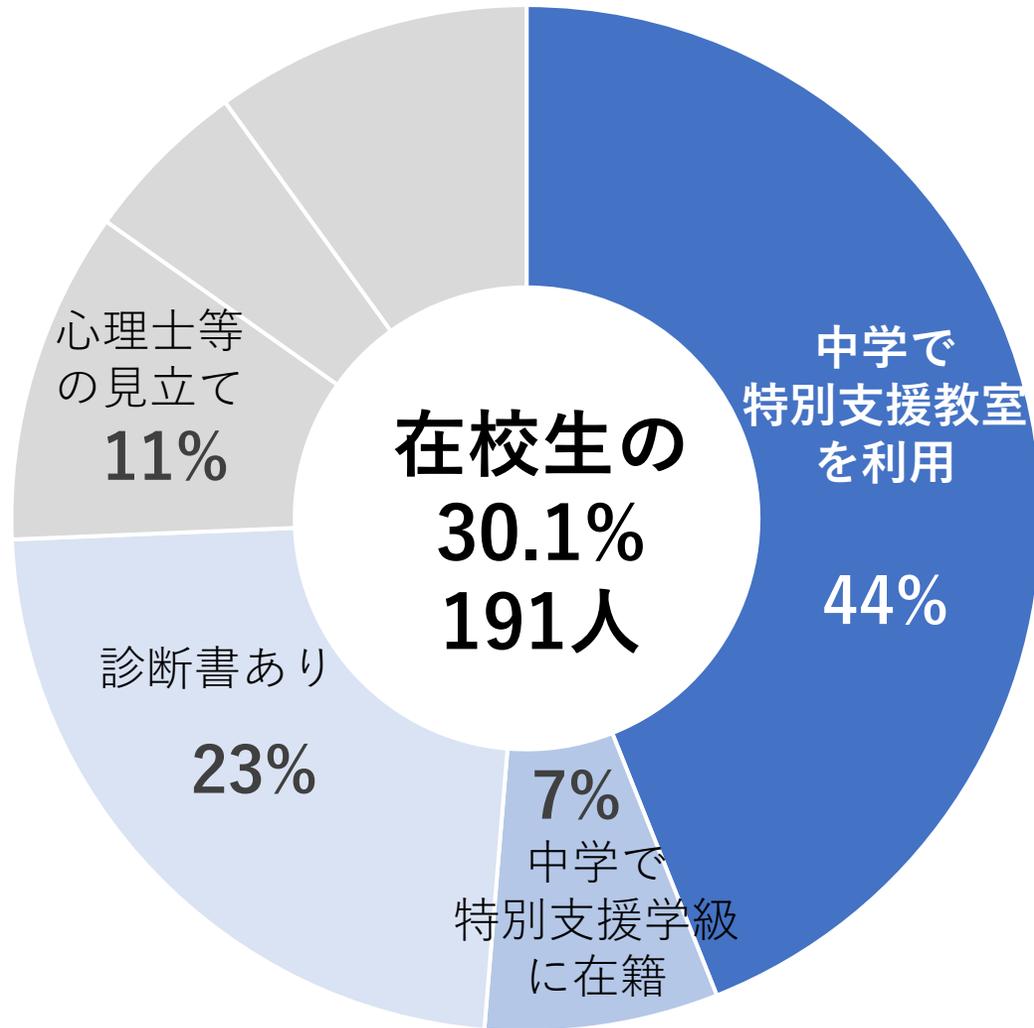
R 5 年度 不登校経験のある入学生 84%
配慮を希望する入学生 47%



課題

登校できない生徒・障害や特性をもつ生徒の支援の充実

多様な特性がある生徒への対応



授業のUD化や構造化
ICT機器の活用や教室環境の統一
苦手を把握する授業アンケート実施

「困り感」の把握から支援へ

保護者との入学前相談
中学校等からの引継ぎ
教育・心理検査の実施

授業アンケート
年3回の個別面談週間
入学時SC全員面談

SC・YSWへの接続
支援ケース会議の招集

自立支援チームの支援
特別支援学校との連携
精神科医等の専門職の活用

合理的な支援の適用
支援プログラムへの接続

特別支援教育コーディネーター・自立支援担当教員による調整

特別支援教室や通級による指導などで指導を受けたことがある
おさまの保護者の皆様へ

おさまのこれまでの支援などの状況を 進学先の都立高校にお伝えください

中学校で受けてきた特別な支援やご家庭での支援の状況などについて、進学先の都立高校にお知らせいただくことで、進学後の学校と一緒に授業での工夫などを検討できます。



高校段階では、進学や就職に向け、おさま自身で決めることも多くなります。

自立して生活していくため、おさま自身が自分の特性を理解し、特性に応じたコミュニケーション方法を身に付けるなどとともに、様々な場面で自ら支援要請できるようになることは、大変重要です。

(中学校までの支援の状況などを進学先に適切に引継ぎ、高校段階での授業における配慮や工夫などにつなげることが大切です。)

公立中学校や、都立中高一貫校へ進学される方へ
これまでの支援の情報などを共有することも大切です。

中学校では、ほとんどの授業を担当が指導していた小学校とは異なり、教科担任制により様々な教員が授業を行います。
そのため、授業における配慮などおさまへの支援に関する情報の共有が重要になります。



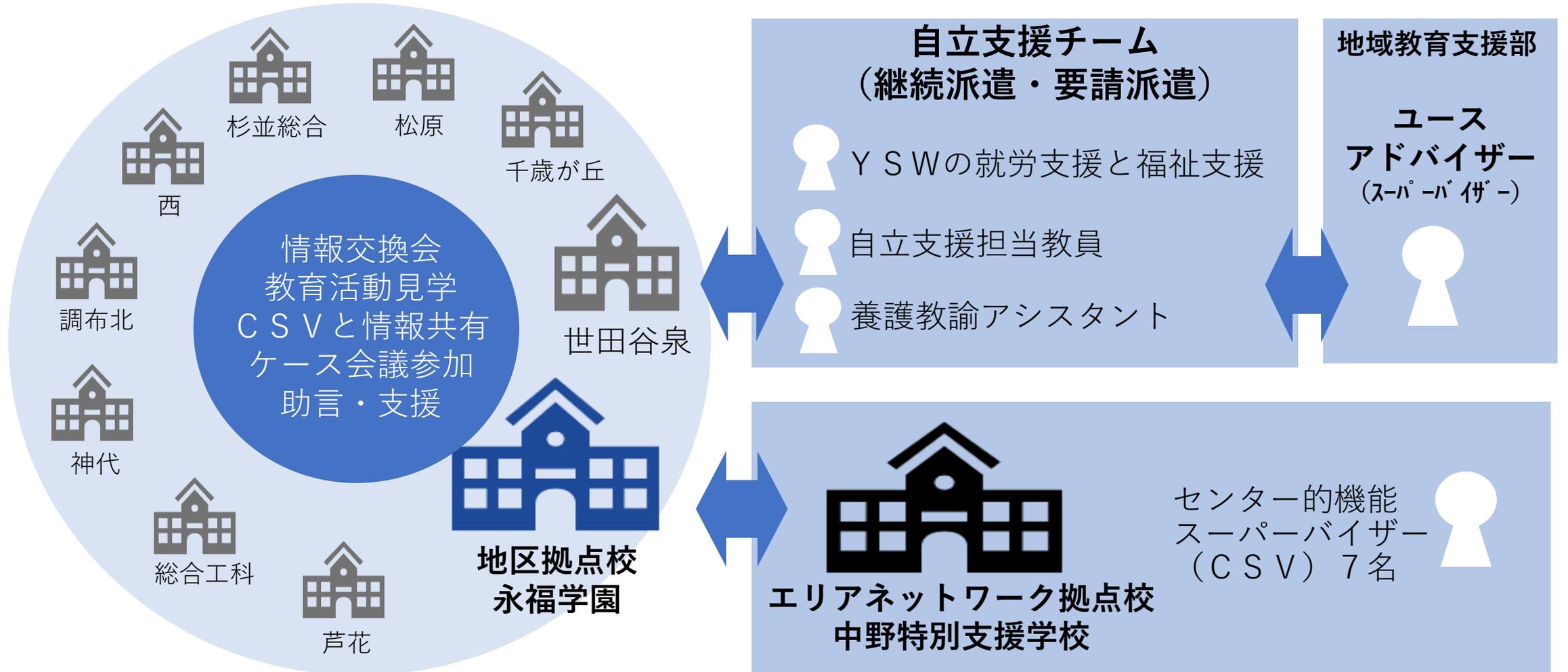
《支援に関する情報を、進学先に効果的にお伝えいただくために》

✓小学校や中学校などから卒業時に渡される、「学校生活支援シート（個別的教育支援計画）」などの支援に関する情報について、ご家庭での状況に合わせて進学先の都立高校などに提出いただきご相談ください。

✓卒業する学校と進学先の学校とで、直接、支援に関する情報を共有することも効果的です。ご家庭でもこうしたことにご理解いただき、学校間で情報共有してもよい旨を、在籍している学校や進学先の学校にお伝えください。

自立支援チームや特別支援学校との連携による支援

都立版エリアネットワーク（例）



様々な支援プログラムの活用

都立高校の通級による指導

通級による指導とは？
 大部分の授業を通常の学級で受けながら、一部の授業について障害に応じた特別の指導を受ける指導形態です。都内公立小・中学校では、「特別支援教室」として全校に導入されています（自治体によっては「特別支援教室」とは別に受給等をつけている場合があります）。

- 周りの人たちとうまく関係をつくっていききたい
- 感情を自分でコントロールできるようになりたい
- ちゃんとスケジュール管理ができるようになりたい

生徒の困っていることを改善するための授業です

自分の困っていることを改善したいと思ったら、まずは学校の先生に相談してみましょう

寄り添ってくれる人がいる。支えてくれる学校がある。

通級による指導に関するお問合せはこちら
 東京都教育庁 都立学校教育部 特別支援教育課 発達障害教育推進担当
☎ 03-5320-7838

こちらも コミュニケーションアシスト講座
 都立高校の生徒がソーシャルスキルやコミュニケーションなど、学校生活で役立つスキルを学ぶための講座です。（土曜日や夏休みには学校以外の会場で実施する講座で、在籍校の教育課程には含まれません。）
 詳細は、東京都教育委員会のホームページをご確認ください
 コミュニケーションアシスト講座

東京都教育委員会 詳細は裏面へ

令和6年度 2～4年生 3名
 ＊1年生の申請は7月から

新しい自分と出会う！ コミュニケーションアシスト講座2023

「コミュニケーション アシスト講座」（通称：コミュアシ）は、都立高校生（都立中等教育学校後期課程の生徒を含む）のための学校外で行う講座です。土曜日等を利用して、ソーシャルスキル（人間関係、自己管理など）やコミュニケーションなど高校生活に役立つ内容を学びます。（主催：東京都教育委員会／運営：株式会社Grow-S）

こんな高校生におすすめ！

- ☑ 友達を作りたい！
- ☑ 自分の良い所を見つけたい！
- ☑ 一歩踏み出せるようになりたい！
- ☑ 計画や気持ちのコントロールができるようになりたい！

**7年間で延べ1000名の高校生が参加！
コミュアシ 受講生の声**

- ★ 人の関わりで自信が付いた！
- ★ 友達に自分から話しかけられるようになった！
- ★ 自分の良さがわかり将来の目標が見つかった！
- ★ 時間や持ち物の管理など高校生活に役立つ内容を学べた！

友達と一緒に学ぼう！ コミュアシの学び

- 話し合いから学ぼう！
 高校生活の困り事について、仲間とのグループワークから自分に合った方法を考えます。
 ☑ 友達と会話が続けられるには？ ☑ 自分の良い所を見つけるには？
 ☑ イライラや不安と付き合うには？ など
- 高校生活・自立に役立つスキルを学ぼう！
 高校生活に活かせるスキルと実践の方法を、クラスで学びます。
 ☑ アスト勉強の計画を立てる ☑ 自分の意見をわかりやすく伝える
 ☑ SNSやスマホとの付き合い方 など
- チャレンジタイム！
 仲間と一緒に様々な活動に挑戦して自信と行動力を身に付けます。

3つのコースから選ぼう！

- 📌 講座A(通年/全30回) **おすすめ!**
 自分とじっくり向き合い、高校生活に役立つスキルを仲間と一緒に学びたい人におすすめ!
- 📌 講座B(短期/全10回)
 1:6/3～9/16 Ⅱ:9/30～12/2 Ⅲ:12/9～2/24
 部活や行事で忙しい人、または少人数で学びたい人におすすめ!
- 📌 講座CI(夏期7月後半/全5回) **オンラインで実施**
- 📌 講座CII(夏期8月後半/全5回) **会場で開催**
 2学期からの高校生活を楽しく過ごすコツを学びましょう!

お申込み
 東京都教育委員会のホームページより申込用紙をダウンロードし、在籍校へ提出してください。
 東京都教育委員会 HP URL: https://www.kyotoku.metro.tokyo.lg.jp/tychook/high_school/wwvt_and_information/assit_senior.html
 ※都立高校に在籍している生徒も申し込みが可能です。

保護者の方へ
 この講座は都立高校の教育課程外かつ学校外で実施する講座で、都立高校に在籍し、何らかの悩み、困り事をもつ生徒が対象です。専門性を有する発達障害療育の専門家と、ソーシャルスキルやコミュニケーションスキルを学んで高校生活に活かすことが目的です。

コミュアシ2022 受講生保護者の声

- 家庭で会話が増えた!
- 高校生活を振り返って過ごせるようになった!
- 意欲に前向きになった!

お問い合わせは 教育庁都立学校教育部 電話:03-5320-7838

令和6年度 長期講座3名
 短期講座2名

将来を見据えた「働くチャレンジプログラム」

インターンシップを通して、自分の将来について考えてみよう！

このプログラムは都立高校生のために将来の働くことについて一緒に考える、5校の都立高校において実施する学校外のプログラムです。土曜日等を利用して、コミュニケーション、ビジネスマナーについての講座（事前学習）を受講していただき、実際の企業でのインターンシップ（3日間程度）を通して自分の将来を見つめ直す機会にしてみませんか。

こんな人にオススメです！

- ▶ コミュニケーションの苦手さをどうにかしたい！
- ▶ いろいろなことに興味を持ちたい！
- ▶ 集中力を付けたい！
- ▶ 将来のことを考えたい！

自分に自信がつく！アツという間の約4ヶ月間集中プログラム！

- ビジネスマナーとコミュニケーションについて学ぶ
- 企業で実際に働いてみる
- 自分を振り返る
- 自分の将来について考え、学校の先生と共有

みんなで楽しく学んでいける！ **ビジネスマナー・コミュニケーション講座**
 全4回 土曜日に各回3時間程度

支援員が伴走するから安心の！ **インターンシップ**
 企業にてインターンシップ3日間程度

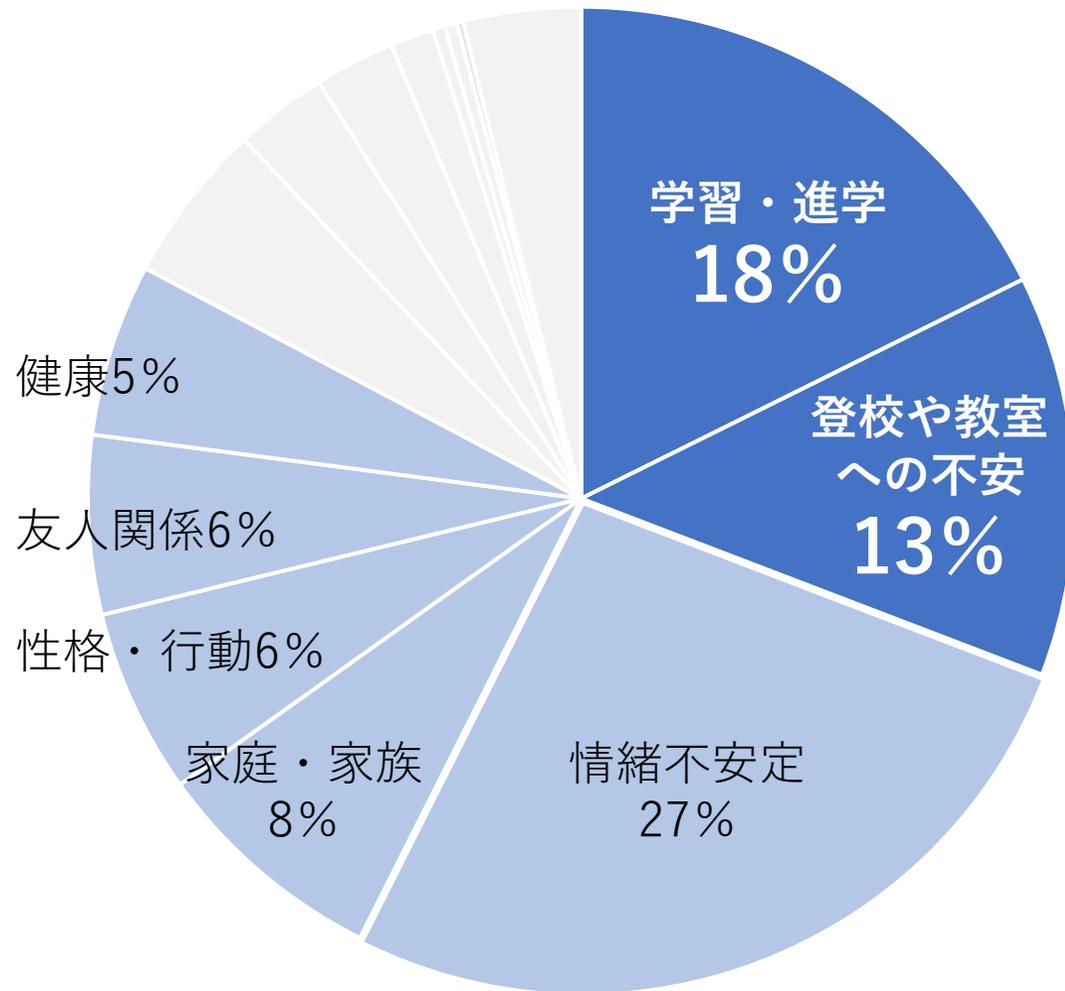
みんなで相談しながら楽しく！ **インターンシップの振り返りとこれからのための講座**
 全3回 各回3時間程度

講座会場 株式会社総合キャリアトラスト SAKURA杉並センター
 お問合せ ご応募・ご相談は担任または管理職まで

東京都教育委員会

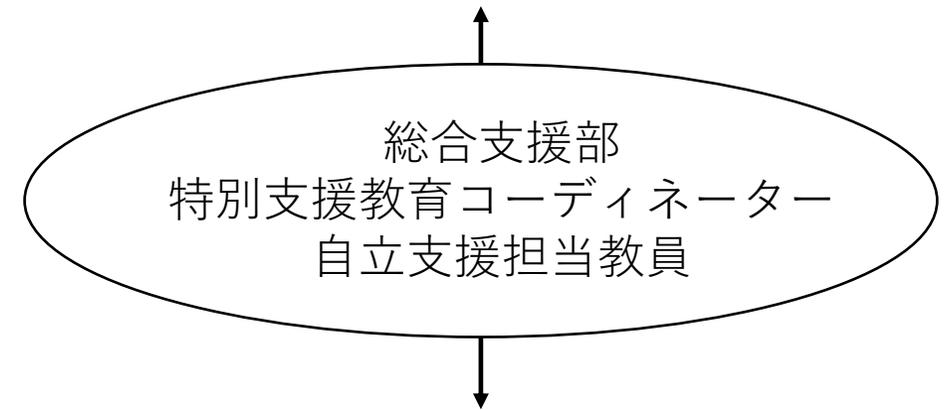
令和6年度 前期15名
 後期は9月募集開始

不安をもつ生徒への対応



SCやYSWが対応した相談内容（令和5年度493件）

専門職による相談と支援で解決
医療や福祉への接続



学び方の選択肢を増やすことで
不登校要因となる学習不安解消

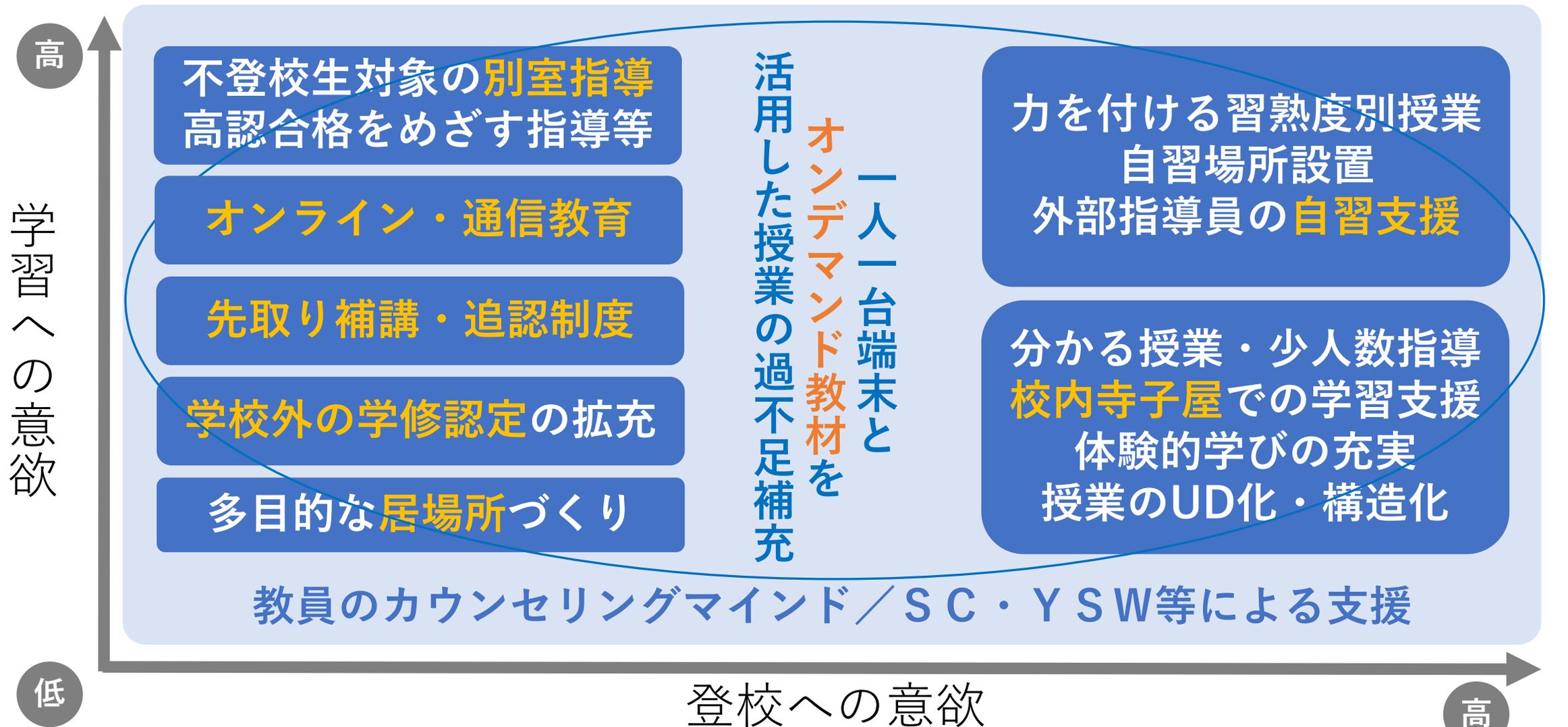
■ 世田谷泉2.0

不登校の本質的な解決ができない学校が取り組むべきこと

- 「登校できなくても学びは継続できる」ように**学びの機会を保障し、転退学を選択しなくてよい学校へ**
- 「いつでも・どこでも・どのようにでも」学ぶことができる学校へ
- 生徒も保護者も教員も不登校を苦しむ必要がない学校へ

「不登校」の概念すら無くなる学校と社会の実現へ

学習意欲・登校意欲に応じた支援



多様な支援を目的とする居場所づくり

SCとの
教育相談室

グループ・
エンカウンター
講座

生徒交流
のつどい
趣味の泉

保護者
交流会
なごみの泉

別室
指導
マイ・スペース泉

バーチャル
ラーニング
プラットフォーム
R6から予定

YSWとの
支援相談室

コミュニケーション
アシスト
講座



フリース
ペース



日本語
指導

通級によ
る指導

自習
スペース
自習スペースいずみ

不登校保
護者交流
校長室茶話会

校内
寺子屋
まなびの泉

働く
チャレンジ
プログラム

■ 校内別室指導 (校内フリースクール「マイスペース泉」)

令和5年度

- 不登校や教室に馴染めない生徒限定の**学習の場**
- 平日10時～20時に常時2名の支援者が常駐
- 学習の成果は**単位認定**する (高認合格・検定合格等)

令和6年度

- 別室にも登校できない生徒には仮想空間 (VLP)も活用
- オンライン授業・通信教育を活用する生徒の支援
- 他の通信制高校で科目履修をする生徒の支援
- 地域の不登校中学生の体験受入で高校進学への意欲の醸成



大型スクリーンに投影した仮想空間で常に学校・支援チームとつながる

対話や交流のスペース



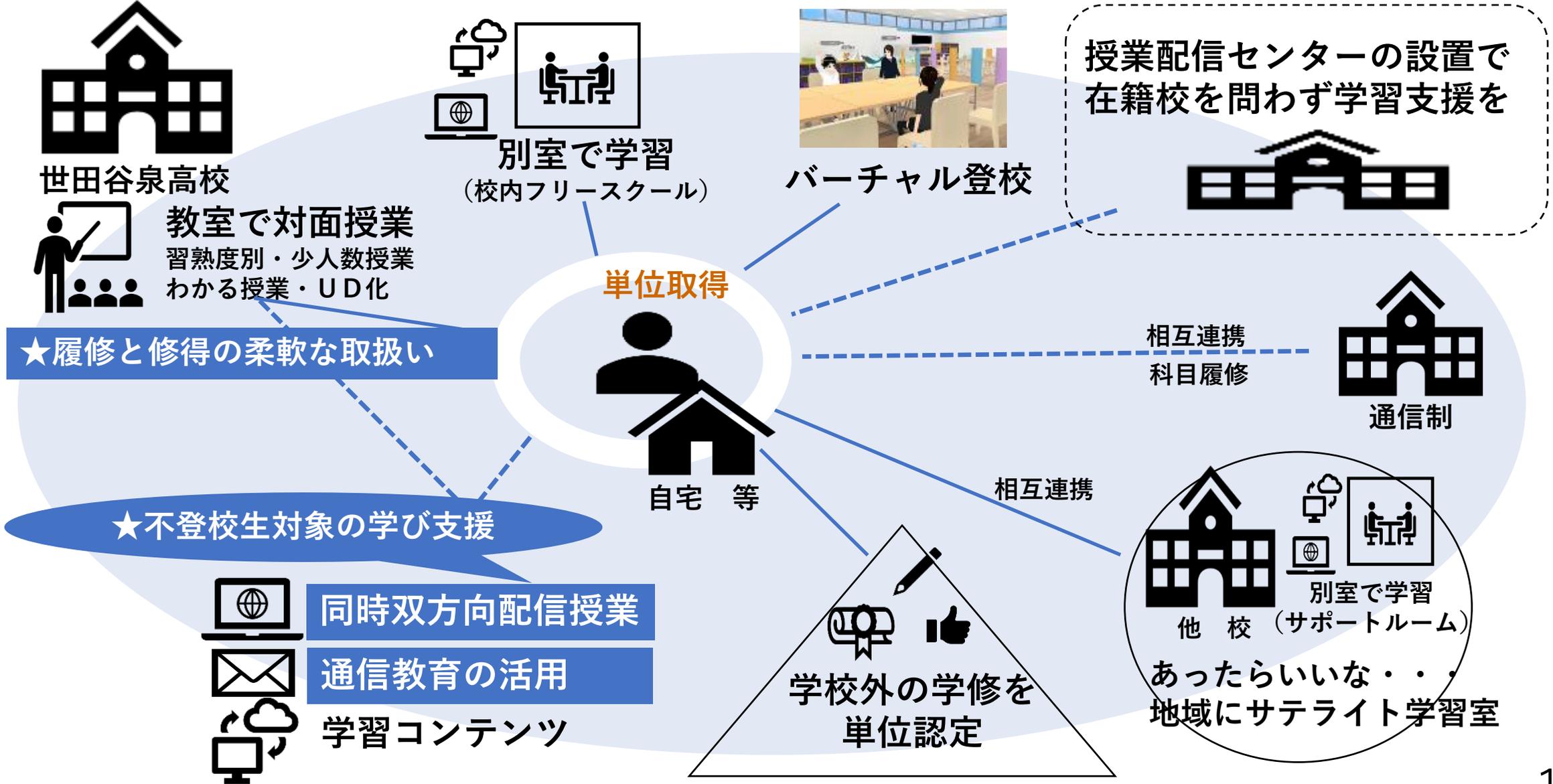
オンライン活用の個別学習



集中できる個別学習ブース



世田谷泉2.0がめざす多様な学び方



■ 不登校生に対する学び保障

国の新たな方針

不登校の生徒に対して
遠隔授業や
通信教育の仕組みを
36単位まで活用できる

補講等により柔軟に
履修・単位修得を
認めることが望まれる

世田谷泉で現在準備していること

不登校生を対象に
全ての必修教科・科目で
遠隔授業・通信教育を開始

生徒の状況に応じて
「未履修の救済措置」
「単位の半分認定」を導入

学校教育法施行規則改正と関連通知の改正（R6.4.1から）

「不登校理解」と「支援」!?

- 「真面目に登校する生徒が馬鹿を見る」
- 「登校しないことを認めたら『雪崩現象』がおこる」
- 「将来の社会で辛い思いをする。甘やかしてはダメだ」
- 「対面で学んでこそその学習」
- 「不登校は本人の無気力と親の責任」
- 「善良な国民は嫌がる子どもを学校に押し込んでいる」
- 「学校復帰率」が求められる不思議

いまだに学校にも社会にも少なくない意識

さいごに

不登校の理由は生徒の怠惰や無気力ではない

登校のみが目標でないなら多様な学びを保障する

登校できないことを苦しませない学校に変える



配慮 が何もない状態…



平等 ではあるけど左の子は
はまだ見えない…



公正 さが担保されて全員
が試合を観られる！

そもそも



環境 を変えれば、ハンディ
キャップは生じない！

このイラストは、IISC (interactioninstitute.org / madewithangus.com) から転載

■ 高校生の不登校増加を受けた東京都の今後の対応

継続した取組

- ア 昼夜間定時制高等学校、チャレンジスクール、エンカレッジスクール等を設置
- イ 校内別室指導推進事業で支援員による学習指導や相談等により登校を支援
- ウ スクールカウンセラーを配置し、生徒の学校生活への適応や学校復帰への支援を実施
- エ ユースソーシャルワーカーを含む自立支援チームを派遣し、生徒の社会的・職業的自立の促進
- オ コンディションレポートで支援の必要な生徒を発見し、改善できるよう支援
- カ 全ての定時制課程と希望する全日制課程において、「人間関係づくりのためのプログラム」を実施
- キ 全ての都立高等学校において、「中途退学防止改善計画書」を作成し組織的な取組を推進

今年度の取組

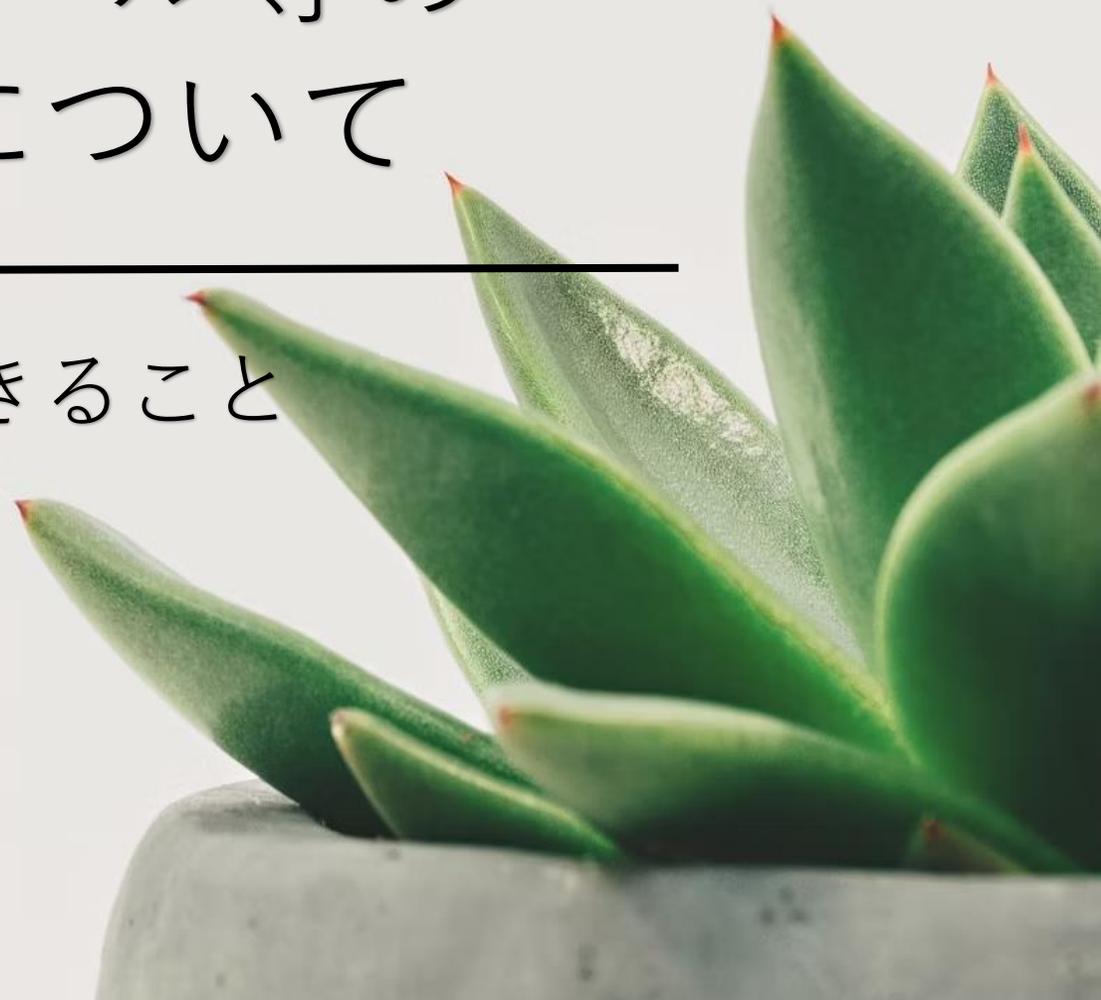
- ア 校内別室指導推進事業指定校に、新たにスクールカウンセラーを増配置
- イ 不登校生徒に、学習意欲や自己肯定感を向上させるためオンライン学習教材を提供

(R6.10.31 東京都教育委員会ホームページの情報から抜粋)

参考資料

チャレンジスクール等の 特色ある高校について

都立高校に期待できること



高校進学への不安

不登校は
高校受検で
不利になる？

入学した学校が
合わなかったら
どうするの？



苦手なことや不安なことが
あっても大丈夫ですか？
支援は期待できますか？

都立高校には
どんな選択肢が
ありますか？



不登校を理由に不安を感じる必要はありません！

都立高校にもたくさん選択肢があります

不登校経験が不利にならない

個に応じた支援が期待できる

- チャレンジスクール（6校+1） R 8年度六本木・大江戸1学級増
* 令和7年度には立川地区に開校予定
- 三部制の昼夜間定時制高校（6校） R 7年度砂川夜間部1学級増
- 夜間定時制高校（44校）
- 全日制のエンカレッジスクール（6校）
- 通信制高校（3校） R 7年度から募集人数の拡大検討へ

■ チャレンジスクールとは

チャレンジスクール

小・中学校時代に不登校経験をもつ生徒や長期欠席等が原因で高校を中途退学した者等を主に受け入れる総合学科・三部制の高校で、他部履修により3年での卒業も可能とする。

定時制（三部制）
単位制
総合学科

昼夜間定時制高校

単位制で昼夜開講多部制の高校である。様々な進路希望に対応した多様で弾力的な教育を行っており3年での卒業も可能である。

定時制（三部制）
単位制
普通科

エンカレッジスクール

小・中学校で十分能力を発揮できなかった生徒のやる気を育て、頑張りを励まし、応援する学校として、社会生活を送る上で必要な基礎的・基本的学力を身に付けることを目的として、既設校の中から指定。基礎・基本を徹底するとともに体験学習を重視する。

全日制
学年制
普通科・工業科

学力検査・調査書のない**特別な入学選抜**

■ 共通する点は

- 基礎から学習します
- ひとりひとりに応じた支援が基本です
- 専門家に相談ができます（世田谷泉の例）

スクールカウンセラー	3名	週3日
ユースソーシャルワーカー	4名	週4日
臨床発達心理士・特別支援教育士		月2回
学校精神科医		月1回
- 子どもを見守る社会のしくみと連携して支えます

異なる点は

入学者選抜の方法と倍率・募集回数

	方 法		倍率	募集回数
	学力検査	調査書		
チャレンジ	なし	なし	部や学校 により 1.0以上も 1.0以下も	1次募集のみ ↓ 複数回 3・4月実施も
エンカレッジ	なし	あり		
昼夜間定時制	あり	あり		
夜間定時制	あり	あり	1.0以下	
通信制	あり	あり		

チャレンジスクールの入学者選抜について

参考 令和6年度入試

		桐ヶ丘	世田谷泉	大江戸	六本木	稔ヶ丘	小台橋	八王子拓真 (粹)
1 学年相当 募集人員		170 155 + 特15	170 155 + 特15	170 155 + 特15	170 155 + 特15	230 215 + 特15	230 215 + 特15	60 特別粹なし
応募倍率		1.08	1.51	1.54	1.68	1.53	1.08	1.33
選抜方法	志 願 申告書	100	100	100	150	100	100	100
	面 接	600	600	600	600	600	600	500
	作 文 50分	500 600字	500 300字×2	600 600字	500 250字×2	500 600字	600 600字	500 600字

4月募集で15名の中途退学者粹15名、9月募集で10名の転学者粹が設置されています。

チャレンジスクールの受検機会

一次発表から二次・分割後期出願まで数日しかないことに注意

